

大学コンソーシアム富山 令和5年度「とやま地域学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和5年度共同授業科目「とやま地域学」
実施機関	富山国際大学（担当教員：助重雄久 富山国際大学 現代社会学部教授）
趣旨・目的	富山の歴史文化や産業・生活などを理解し、富山の今後の地域づくりについて考える。
開催日時	令和5年8月21日(月)、23(水)～25(金)の4日間
開催場所	富山県民会館3階304号室
参加人数	学生77名 【内訳】・富山大学31名・富山県立大学6名・高岡法科大学1名 ・富山高等専門学校18名・富山国際大学21名
事業内容	<p><b>【令和5年度概要】</b></p> <p>今年度の「とやま地域学」は、「富山のいまと未来を考える」「富山の伝統を未来に活かす」「富山の自然を守り、未来に活かす」「富山の歴史を振り返る」の4つのテーマを設定し、富山の魅力を再発見するとともに、今後の地域づくりに活かしていくことを目的に企画・実施しました。</p> <p>受講生からのアンケートからは、富山についてよく考える機会になったとの意見を多くいただき、講義内容に対して5段階中5と高い評価をもらうことができました。</p> <p>今回の集中講義を通して、富山の魅力を地域・社会に伝えていく人が増えることを願い、来年度も講義を実施していきたいと思っております。</p> <p><b>【第1日目：8月21日(月)】</b></p> <p>① 受付（出席確認・資料配布）(9:00～9:20) 学長挨拶 （富山国際大学学長 高木利久）(9:20～9:50) 授業ガイダンス・日程等に関する説明 （富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久）(9:50～10:20)</p> <p>② 知事と語ろう 富山の未来 （富山県知事 新田八朗 氏）(10:40～12:10)</p> <p>③ データから見る富山の生活と産業 （富山国際大学現代社会学部准教授 大谷 友男）(13:00～14:30)</p> <p>④ 富山の観光は総力戦！ （富山県理事・観光振興室長 宮崎一郎 氏）(14:40～16:10)</p> <p><b>【第2日目：8月23日(水)】</b></p> <p>⑤ 伝統と進化にこだわる醤油づくり （畑醸造株式会社専務 畑 彰 氏）(9:00～10:30)</p> <p>⑥ 町家のリノベーションと地域活性化 （グリーンノートレーベル株式会社代表取締役 明石 博之 氏）(10:40～12:10)</p> <p>⑦ 城端人として生きる （城端蒔絵十六代 小原 治五右衛門 氏）(13:00～14:30)</p>

**【第3日目：8月24日(木)】**

- ⑧ 立山黒部の自然とその多様性  
(富山県立山カルデラ砂防博物館学芸課長 飯田 肇 氏) (9:00~10:30)
- ⑨ 富山の生活と豊かな水  
(富山国際大学名誉教授 尾畑 納子 氏) (10:40~12:10)
- ⑩ 富山における自然エネルギーの活用とその未来  
(富山国際大学現代社会学部教授 上坂 博享) (13:00~14:30)
- ⑪ デジタル化で黒部峡谷の安全、人の安全を守る  
(大高建設株式会社代表取締役社長 大橋 聡司 氏) (14:40~16:10)

**【第4日目：8月25日(金)】**

- ⑫ 富山市街地の歴史をたどる (レクチャー) (9:00~10:30)
- ⑬ 富山市街地の歴史をたどる (フィールドワーク) (10:40~12:10)
- ⑭ 富山市街地の歴史をたどる (グループ発表) (13:00~14:30)  
(富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏)
- ⑮ まとめ、課題提出について (14:40~16:10)  
(富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久)

1日目  
富山県知事の講義の時の様子



4日目  
グループ発表の時の様子

## 大学コンソーシアム富山 令和5年度「航空機入門」実施報告

<b>事業名</b>	単位互換 共同授業科目 「航空機入門」
<b>実施機関名／ 担当教員</b>	富山県立大学 担当教員：工学部機械システム工学科 坂村 芳孝 教授
<b>趣旨・目的</b>	航空機のしくみや開発、生産等、航空機の技術と製造に関わる幅広い知識を習得し、航空機製造業や航空機運送事業について理解を深める。
<b>開催日時</b>	令和5年8月21日（月）10時30分～16時10分 8月22日（火）10時30分～16時10分 8月23日（水）10時30分～14時30分
<b>開催場所</b>	大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室2
<b>参加人数</b>	33名 【内訳】学生：富山大学18名、高岡法科大学1名、富山高等専門学校4名、富山県立大学2名 一般：1名 教員：6名（外部講師5名、担当教員1名） 職員：1名
<b>事業内容</b>	<p>【8月21日（月）】</p> <p>①Leonardo から Wright Brothers へ（10：30～12：00） （講師：富山県立大学 客員教授、 富山県航空機産業アドバイザー 戸田 信雄）</p> <p>②飛行機構造設計（13：00～14：30） （講師：ダイヤモンドオフィスサービス株式会社 営業総括部 シニア主幹 坂川 亨）</p> <p>③飛行の原理－揚力と抗力（14：40～16：10） （講師：富山県立大学工学部機械システム工学科 教授 坂村 芳孝）</p> <p>【8月22日（火）】</p> <p>④宇宙ロケットの基礎（10：30～12：00） （講師：富山県立大学 客員教授、 富山県航空機産業アドバイザー 戸田 信雄）</p> <p>⑤飛行力学の基礎（13：00～14：30） （講師：富山県立大学工学部機械システム工学科 教授 坂村 芳孝）</p> <p>⑥航空機に関する最新の研究トピック（14：40～16：10） （講師：富山大学工学部 シニアアドバイザー 松島 紀佐）</p> <p>【8月23日（水）】</p> <p>⑦航空機部品生産の現場（10：30～12：00） （講師：株式会社石金精機 代表取締役 清水 克洋）</p> <p>⑧エアラインにおける航空機の整備（13：00～14：30） （講師：全日本空輸株式会社 整備センター技術部 構造技術チーム 木村基祝）</p>



8月21日(月)1限目「Leonardo から Wright Brothers へ」



8月22日(火)2限目「飛行力学の基礎」



8月23日(水)1限目「航空機部品生産の現場」

大学コンソーシアム富山 令和5年度「DX概論」実施報告

事業名	単位互換 共同授業科目 「DX概論」
実施機関名/ 担当教員	富山県立大学 担当教員：工学部情報システム工学科 唐山 英明 教授
趣旨・目的	デジタル・トランスフォーメーション（DX）についての幅広い知識を習得する。特に、大学（学）や自治体（官）における取り組みについて知り、理解を深める。
開催日時	令和5年8月24日（木）9時40分～17時00分 8月25日（金）9時40分～17時00分
開催場所	大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室2
参加人数	38名 【内訳】 学生：富山大学11名、富山高等専門学校9名、富山県立大学7名 一般：2名 教員：8名（講師7名、担当教員1名） 職員：1名
事業内容	<p>【8月24日（木）】</p> <p>①ガイダンス／大学とDX・DS（9：40～11：10） （講師：富山県立大学工学部情報システム工学科 教授 唐山 英明 富山県立大学学長 学長 下山 勲）</p> <p>②富山県におけるDX推進の取組み（11：20～12：50） （講師：富山県知事政策局デジタル化推進室デジタル戦略課長 長岡 憲秀）</p> <p>③射水市における市民生活DXの進め方（13：50～15：20） （講師：射水市DX推進アドバイザー 揚原 安麿）</p> <p>④ヘルスケアとDX（15：30～17：00） （講師：富山県立大学工学部情報システム工学科 教授 唐山 英明）</p> <p>【8月25日（金）】</p> <p>⑤モノづくり分野のDX（1）（9：40～11：10） （講師：富山県立大学工学部情報システム工学科 教授 岩本 健嗣）</p> <p>⑥人工知能とDX（11：20～12：50） （講師：富山県立大学工学部情報システム工学科 教授 榊原 一紀）</p> <p>⑦バーチャルリアリティとDX（13：50～15：20） （講師：富山県立大学工学部情報システム工学科 教授 田川 和義）</p> <p>⑧モノづくり分野のDX（2）／まとめ（15：30～17：00） （講師：富山県立大学工学部機械システム工学科 准教授 寺島 修 富山県立大学工学部情報システム工学科 教授 唐山 英明）</p>



8月24日(木)1限目「ガイダンス／大学とDX・DS」




8月24日(木)3限目「射水市における市民生活DXの進め方」



8月25日(金)2限目「人工知能とDX」

大学コンソーシアム富山 令和5年度共同授業科目  
「実践経営学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和5年度共同授業科目 「実践経営学」
実施機関名	高岡法科大学 担当教員：法学部 八坂徳明教授
趣旨・目的	経営学の「組織論」「戦略論」を主体に、将来のリーダーの役割を担う人材を育成する。 「組織論」では、社会人基礎力を鍛えて、組織のマネジメントを実践するための学びとリーダーの素養を身に付けるためのリベラルアーツを学ぶ。「戦略論」では、経営計画とPDCAについて、事例研究から学ぶ。
開催日時	令和5年8月28日（月）～9月1日（金）
開催場所	大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室 2
参加人数	学生計37名：富山大学（6名）・富山県立大学（1名）・富山高等専門学校（5名）・高岡法科大学（25名）
事業内容	<p>第1回 ガイダンスー社会人基礎力とは何か、戦略目標のある生き方、リカレント教育と生涯学習 講師：オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏</p> <p>第2回 実践経営学とは何かー経営学「組織論、戦略論」、事例研究、リーダー育成プログラム 講師：オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏</p> <p>第3回 現代投資理論（MPT）で読み解く証券投資 講師：日本証券アナリスト協会 認定アナリスト 森田 徹 氏</p>  <p>第4回 地場産業、伝統工芸、デザイン、研究開発 講師：株式会社能作 代表取締役会長 能作 克治 氏</p> <p>第5回 リベラルアーツ 講師：オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏</p> <p>第6回 クリエイティビティとコミュニケーション 講師：コトノオト 代表 上野 賀永子 氏</p>





第7回 財務マネジメント

講師：中山経営財務コンサル 代表 中山 誠司 氏

第8回 ドラッカー マネジメント

講師：オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏

第9回 キャリアデザイン

講師：大門社会保険労務士事務所 社会保険労務士 大門 充子 氏



第10回 マーケティング・顧客管理、まちづくり

講師：株式会社大和富山店 取締役店長 中崎 俊也 氏

第11回 コトラー マーケティング

講師：オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏

第12回 生産管理理論

講師：三協・立山株式会社 元常務執行役員 内嶋 鍊一郎 氏





- 第13回 持続性と企業経営 ～企業セクターの役割を考える～  
講師：富山県民ボランティア総合支援センター 専務理事 村田 芳朗 氏
- 第14回 バーニー 資源ベースの戦略論、人材育成  
講師：オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏
- 第15回 実践経営学まとめ  
講師：オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏



以上

大学コンソーシアム富山 令和5年度「富山の地域づくり」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和4年度単位互換開講科目 「富山の地域づくり」
実施機関名	富山大学 大西 宏治（富山大学人文学部教授）
趣旨・目的	1. まちづくりが国や地方公共団体によって、多面的に取り組まれていることを理解すること。 2. 富山市の取り組むまちづくりについて、理解を深めること。
開催日時	令和5年8月30日（水）、8月31日（木）、9月1日（金）、 9月2日（土）
開催場所	富山大学五福キャンパス及び大学コンソーシアム富山駅前キャンパス
参加人数	学生54名 【内訳】・富山大学（44名） ・富山県立大学（1名） ・富山高等専門学校（7名） ・高岡法科大学（2名）

## 事業内容

### ●第1日目 (8/30)

- 第1回 オリエンテーション：まちづくりとは？
- 第2回 立山黒部ジオパーク協会の取り組み  
(都市デザイン学部准教授・安江健一)
- 第3回 富山県における農業用水路事故 (富山県農村整備課)
- 第4回 富山県の交通戦略 (富山県交通戦略室)



富山県交通戦略室ゲストスピーカーの講義の様子

### ●第2日目 (8/31)

- 第5回 富山市の中心市街地活性化の取り組み  
(富山市まちづくり推進課)
- 第6回 富山市の環境政策とSDGs (富山市企画調整課)
- 第7回 富山市の観光政策とその課題 (富山市観光政策課)
- 第8回 富山市のスマートシティ事業  
(富山市スマートシティ推進課)

### ●第3日目 (9/1)

- 第9回 未来共創ワークショップ (1)
- 第10回 未来共創ワークショップ (2)
- 第11回 未来共創ワークショップ (3)
- 第12回 未来共創ワークショップ (4)




ワークショップの様子

●第4日目(9/2) 大学コンソーシアム富山駅前キャンパスにて実施  
第13回 発表準備  
第14回 発表会(1)  
第15回 発表会(2)



最終日 発表会の様子

大学コンソーシアム富山 令和5年度共同授業科目  
「現代社会と法」実施報告

事業名	<p>大学コンソーシアム富山 令和5年度共同授業科目 「現代社会と法」(地球から地域へ)</p>
実施機関名	高岡法科大学 担当教員：法学部 八坂徳明 教授
趣旨・目的	<p>地球編・地域編の2部構成とし、地球編では富山にゆかりがあり国際社会・国家中枢で活躍された著名人を招聘、地域編は、理論編・地域経営編・地方自治編で構成され、理論編は、大学研究者による理論の呈示。 地域経営編は、富山から世界へ発信を続ける新進気鋭の若手経営者による経営実践。地方自治編は、富山において地域活性化のために先進的な取組に挑む首長等から「地域明るく実践編」と称し講義を行う。</p>
開催日時	令和5年9月4日(月)～9月8日(金)
開催場所	高岡法科大学 ミレニアムホール
参加人数	学生計80名：富山大学(5名)・富山県立大学(11名)・富山短期大学(1名)・富山高等専門学校(9名)・高岡法科大学(54名)
事業内容	<p><b>【地球編】</b>  第1回「国際情勢と国際法ーロシア・ウクライナ紛争と中立法の現代的位相について検討するー」  講師：高岡法科大学教授 吉田 靖之 氏  第2回「東アジアの歴史的国際秩序ー中国・ロシア・インドといった、新大国を試行する国々の間で、東アジア諸国の外交政策を占うー」  第3回「現在の国際情勢と中国ー習近平体制の中国の現状と今後の米国・日本・韓国の外交政策の行方を占うー」  講師：高岡法科大学客員教授 元在中国・トルコ全権大使 横井 裕 氏</p>  <p>第4回「『現代の北前船』商社の挑戦ー地方におけるモノづくりの視点から、イノベーションのシーズを発掘し、世界に挑む実践を語るー」  講師：ホクセイプロダクツ株式会社代表取締役 富田 昇太郎 氏  第5回「国際情勢と環境ー国際情勢のなかでの、脱炭素・SDGsの諸問題、地球環境問題を考えるー」  第6回「地域社会と環境ー脱炭素・SDGsの諸問題を踏まえ、地域社会と炭素環境問題の在り方を考える」  講師：日鉄スチール株式会社顧問、元環境省事務次官 中井 徳太郎 氏</p>





**【地域経営編】**

第7回「グローバル時代の知識創造自治体（理論編）－ナレッジマネジメントによる地域共治モデルとしての地域創造自治体を考える－」

第8回「グローバル時代の知識創造自治体（実践編）－地域レベルでのナレッジマネジメントの必要性を問う－（地域創造自治体におけるエスニック・ビジネスや地元経済への貢献）」

講師：北陸先端科学技術大学院大学 名誉教授 梅本 勝博 氏

**【地域編】（地方自治）**

第9回「人 自然 食 文化で未来を拓く交流都市 ひみー『氷見市のウェルビーイングなまちづくり戦略』とは－」

講師：氷見市副市長 篠田 伸二 氏



**【地域経営編】**

第10回『『人と、地域と、能作』地方から世界へ－鋳物メーカーがブライダル、観光、カフェ・・・『モノづくり』から『コトづくり』へ－』

講師：株式会社能作 代表取締役社長 能作 千春 氏

第11回「循環経済で革新する産業と地域－国際標準化競争の最前線 世界に先駆け循環経済モデルを地方から発信－」

講師：ハリタ金属株式会社代表取締役 張田 真 氏

**【地域編】**

第12回「地域づくりの経済学入門（本当の地域づくりとは）－経済のグローバルの進展のなかで、どのように自分たちの住む地域を『活性化』あるいは発展させればよいかを考える－」

講師：京都大学名誉教授・京都橘大学教授 岡田 智弘 氏

**【地域編・総括】**

第13回「世界に誇れる『一流の田舎』を目指す南砺市の取り組み－誰ひとり取り残さない 誰もが笑顔で暮らし続けられるまちへ」の実現に向けて－」

講師：南砺市長 田中 幹夫 氏





**【地球編・総括】**

第 14 回「環境法概論－環境法と SDGs を法律の視点から考える－」

高岡法科大学准教授 渡部 朗子 准教授



**【総括】**

第 15 回「地球から地域へ、そして、地域から地球へーまとめ：現代社会と法の視点を踏まえ、国内外での様々な課題を踏まえ、地域社会の未来を探る－

高岡法科大学副学長・学部長 八坂 徳明 氏

## 大学コンソーシアム富山 令和5年度「とやまの食文化」実施報告

<b>事業名</b>	単位互換科目 共同授業科目「とやまの食文化」
<b>実施機関名／ 担当教員(所属・職氏名)</b>	富山短期大学（担当教員：食物栄養学科 講師 中根一恵）
<b>趣旨・目的</b>	富山県に在住していても富山県が「食の宝庫」であることを知らない若者世代が多い。とやまの先人の知恵が育んできた食文化について、地形や自然環境を学習し、健康についての科学的な視点、食体験や実習、外部講師を招聘した講義より、各地域の食文化の成り立ちなどを具体的に知ることで、とやまの食の魅力について考える機会とする。意見交換、意見の発表を通して「今後、とやまの食文化を次世代にどのように伝えていったらよいか」について考え、とやまの食文化への興味関心、理解を深めることを目的とする。
<b>開催日時</b>	令和5年9月4日(月)、5(火)、6(水) 3日間集中講義 1日：9時10分～14時50分 2日：9時10分～16時20分 3日：9時10分～12時20分
<b>開催場所</b>	場所：富山短期大学 F館 205教室、106, 108 調理実習室 住所：〒930-0193 富山市願海寺水口 444
<b>参加人数</b>	(1)参加学生 40名（受入れ許可46名） 富山大学 17名 富山高等専門学校 2名 高岡法科大学 1名 富山短期大学 26名 (2)教員（講師）6名（富山短期大学 4名、外部講師2名） (3)職員 1名（富山短期大学（事務業務）1名）
<b>事業内容</b>	今年度は、生地地域にて食の魅力を探すフィールドワークや株式会社ウーケ様の施設見学も取り入れることで学びを深めた。栄養学的視点からみた、とやまの食についての講義、各地域の食文化の特徴を熟知した外部講師を招聘することで、過去から伝わってきた食文化について理解を深めた。「食の宝庫」であるとやまの魅力を再発見することで、とやまの食文化の魅力、今後につなげるためにどうしたらよいかを考える機会にするとともに、食と健康の観点から現代の食事について考える機会ともなった。  【1日目：令和5年9月4日(月)】 第1回 授業ガイダンス （富山短期大学食物栄養学科講師 中根一恵） とやまの食文化総論（富山短期大学食物栄養学科講師 半田彩実） 第2、3回 生地地域でのフィールドワーク、株式会社ウーケ様施設見学



フィールドワークの様子



施設見学の様子

【2日目：令和5年9月5日(火)】

第4回 とやまの郷土料理〔調理実習〕

(富山短期大学食物栄養学科講師 中根一恵)

(富山短期大学食物栄養学科講師 半田彩実)



示範の様子



調理実習の様子

第5回 とやまの魚、そのおいしさの秘密と健康性について

(富山短期大学食物栄養学科教授 竹内弘幸)

第6回 とやまの食と健康

(富山短期大学食物栄養学科准教授 藤田恭輔)

【3日目：令和5年9月5日(火)】

第7回 富山県内と地域の食文化

(まんだら食堂 佐伯 照代氏)

(富山短期大学特任教授 稗苗智恵子氏)



講義の様子 (佐伯 照代氏)



講義の様子 (稗苗 智恵子氏)

第8回 ワークショップ



発表の様子

大学コンソーシアム富山 令和5年度「富山学」実施報告

<p>事業名</p>	<p>大学コンソーシアム富山 令和5年度単位互換開講科目 「富山学」</p>
<p>実施機関名</p>	<p>富山大学 奥 敬一（富山大学芸術文化学部教授）</p>
<p>趣旨・目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山の自然基盤の成り立ちと現状について理解し、産業やまちづくりとのつながり、防災の重要性などについて理解を深める。</li> <li>・フィールドワークや地域のひとびとの対話を通して富山の歴史的・文化的な成り立ちと現状について理解し、住環境や生活にみられる富山の価値に対する理解を深める。</li> <li>・富山県が持っている世界や日本の中での独自性・固有性を活かして、富山の将来像について日常の中で意識的に考え、行動できるような態度を培う。</li> </ul>
<p>開催日時</p>	<p>令和5年9月5日（火）、9月12日（火）、9月19日（火）、 9月26日（火）</p>
<p>開催場所</p>	<p>大学コンソーシアム富山駅前キャンパス研修室2 五箇山合掌造り集落・他（9月12日は遠隔授業）</p>
<p>参加人数</p>	<p>学生45名 【内訳】・富山大学（38名） ・富山県立大学（3名） ・富山国際大学（4名）</p>

<p>事業内容</p>	<p>&lt; 1～3回 9月5日(火) 1限～3限 &gt;</p> <p>1. ガイダンス 講義全体の進め方、成績評価等についての解説 富山県の基礎情報；統計からみた富山</p> <p>2. 富山の自然基盤（水循環） 立山連峰から富山湾に至る大きな水循環について理解し、富山の産業や生活と深く関わっていることを学ぶ</p> <p>3. 富山の自然基盤（植生） 過去から現在にわたる富山の自然植生の変化と現況について解説し、緑地がグリーンインフラとして生活・住環境の維持に果たしてきた役割について理解する</p> <p>&lt; 4～7回 9月12日(火) 1限～4限 &gt;</p> <p>4. 富山の自然基盤（生物多様性） 富山の自然環境と社会文化の相互作用が織りなす生物多様性について解説し、住環境や食文化との関係について理解する</p> <p>5. 富山の自然の保全（立山連峰1） 立山の自然の保全の実態や、自然環境と両立する観光のあり方、さらに自然保護に関係する仕事について学ぶ 外部講師：環境省立山管理官事務所国立公園管理官・中森 健太</p> <p>6. 富山の自然の保全（立山連峰2） 立山山系の成り立ちから、産業との関係について学び、保全すべき価値が何かを学ぶ</p> <p>7. 富山の自然基盤（総括） 富山の自然環境を活用した商品やサービスについて学生が自主的に調査し、地域性が生み出す価値について理解する。</p> <p>&lt; 8～11回 9月19日(火) 1限～4限 &gt;</p> <p>8～11. 五箇山フィールドワーク 立山山系の地形的な特徴とその社会との関わりについて解説する 外部講師：五箇山自然文化研究会会員 9:45 富山大学五福キャンパス出発 11:00 菅沼集落到着 現地講師による菅沼合掌造り集落解説 五箇山民俗館、塩硝の館など見学 12:30 バスでタカンボースキー場へ 12:45 昼食 タカンボースキー場ふれあいハウス 13:30 タカンボースキー場茅場 茅場管理の取り組みについて解説 茅刈り体験(現地講師) 15:15 菅沼集落出発 16:30 富山大学五福キャンパス到着</p>
-------------	---



< 12～15回 9月26日(火) 1限～4限 >

12. ここまでの振り返り

9月5・12日の回の事後学習、および9月19日のフィールドワークで学んだ内容について振り返る

13. 富山の歴史と生活文化（五箇山の世界遺産としての価値）

富山県内の自然環境に育まれた特徴的な生活文化の景観のうち、五箇山地域について解説する。

14. 富山の歴史と生活文化（扇状地の生活文化）

富山県内の扇状地平野に展開する特徴的な生活文化の景観のうち、砺波平野、黒部川扇状地について解説する。

15. 総括

レポートにもとづくグループディスカッションと「富山学」のまとめ



9/19 フィールドワークの様子



コンソーシアム富山駅前キャンパスでの講義



大学コンソーシアム富山 令和5年度「現代社会と人間Ⅱ」実施報告

事業名	単位互換 共同科目 現代社会と人間Ⅱ
実施機関名 ／担当教員(所属・ 職氏名)	富山短期大学 担当教員：食物栄養学科 大森聡准教授
趣旨・目的	「食と健康」、「子育てと社会」、「AI時代の働き方」等を切り口に、本学が蓄積する「食と健康」「保育と子育て」「情報と経営」「福祉と介護」に関する教育・研究の実績を活用し、各講師が専門領域から現状と課題を分析する。また、富山県内に移住されている方を招聘し、ワークショップを開催することで、受講生が人生100年時代を豊かに生き抜くための柔軟で多様なライフプランを構築できるようになることを目指す。
開催日時	令和5年9月14日(水) 9:10～14:40 15日(木) 9:10～12:20 16日(金) 9:10～14:40
開催場所	富山ステーションフロントCiC 5階
参加人数	令和5年9月14日(水) 9:10～14:40 (学生:15名 富山大学8名、高岡法科大学1名、富山高等専門学校1名、富山短期大学5名、教員:2名) 令和5年9月15日(木) 9:10～12:20 (学生:13名 富山大学6名、高岡法科大学1名、富山高等専門学校1名、富山短期大学5名、外部講師1名、教員:2名) 令和5年9月16日(金) 9:10～14:40 (学生:15名 富山大学8名、高岡法科大学1名、富山高等専門学校1名、富山短期大学5名、外部講師1名、教員:2名)
事業内容	人生100年時代の到来が叫ばれる昨今において、従来の教育→就職→定年・引退」という人生モデルが大きく変容しようとしている。本講座は、富山県に在住する若者が地域の魅力を捉えなおし、多様な生き方に触れ、自らのライフシフトを選択していく機会となる基礎講座と位置付ける。  1、2コマ目担当 富山短期大学 経営情報学科 教授 森井泉仁 3コマ目担当 LAW 太田直喜 4コマ目担当 富山短期大学 幼児教育学科 准教授 嶋野珠生 5コマ目担当 考えるパン KOPPE たけぞえあゆみ 6コマ目担当 富山短期大学 健康福祉学科 教授 井上理絵 7コマ目担当 富山短期大学 客員教授 稗苗智恵子 8コマ目担当 富山短期大学 食物栄養学科 准教授 大森聡



稗苗客員教授



考えるパン KOPEE たけぞえ氏



LAW 太田氏

大学コンソーシアム富山 令和5年度「富山とくすり」実施報告

事業名	単位互換 共同授業科目 「富山とくすり」
実施機関名/ 担当教員	富山県立大学 担当教員：工学部医薬品工学科 中島 範行 教授
趣旨・目的	くすりの歴史、製造、開発に関わる幅広い知識を習得し、くすりの働き（剤形、DDS、作用機序等）について理解を深める。
開催日時	令和5年9月25日（月）9時40分～17時00分 9月26日（火）9時40分～17時00分
開催場所	大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室1
参加人数	40名 【内訳】学生：富山大学22名、富山県立大学6名、富山国際大学1名、 富山高等専門学校2名 教員：8名（講師7名、担当教員1名） 職員：1名
事業内容	<p>【9月25日（月）】</p> <p>①ガイダンス/くすりの歴史と現状（9：40～11：10） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 教授 中島 範行）</p> <p>②有機化学でくすりを作る（11：20～12：50） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 教授 小山 靖人）</p> <p>③細胞とくすり（13：50～15：20） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 准教授 安田 佳織）</p> <p>④くすりのかたちと投与（15：30～17：00） （講師：神戸学院大学 名誉教授 福森 義信）</p> <p>【9月26日（火）】</p> <p>⑤遺伝子とくすり（9：40～11：10） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 准教授 古澤 之裕）</p> <p>⑥診断と創薬のための分析化学（11：20～12：50） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 准教授 大坂 一生）</p> <p>⑦バイオ医薬品の製造と開発（13：50～15：20） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 講師 河西 文武）</p> <p>⑧医療デバイスと微細加工（15：30～17：00） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 教授 竹井 敏）</p>



9月25日(月)1限目「ガイダンス/くすりの歴史と現状」



9月25日(月)4限目「くすりのかたちと投与」



9月26日(火)2限目「診断と創薬のための分析化学」



9月26日(火)3限目「バイオ医薬品の製造と開発」

大学コンソーシアム富山 令和5年度「データサイエンスの実践」実施報告

<p>事業名</p>	<p>大学コンソーシアム富山 令和5年度単位互換開講科目 「データサイエンスの実践」</p>
<p>実施機関名</p>	<p>富山大学 栗本 猛（富山大学教養教育院教授）</p>
<p>趣旨・目的</p>	<p>データを利活用するにあたっては、統計、コンピュータを用いたデータ処理、プログラミング基礎等の知識と技術が重要になる。本授業では必修科目である「情報処理」で学んだ IT 技術をベースとして、それをさらに発展させたデータサイエンスの基礎技術を身につけることを目標とする。</p>
<p>開催日時</p>	<p>令和5年9月4日（月）、9月5日（火）、9月6日（水）</p>
<p>開催場所</p>	<p>富山大学五福キャンパス</p>
<p>参加人数</p>	<p>学生39名 【内訳】・富山大学（34名） ・富山高等専門学校（3名） ・富山県立大学（1名） ・富山短期大学（1名）</p>

## 事業内容

### ●第1日目 (9/4)

第1回 データサイエンスの概念と表計算ソフトを用いたデータ分析-1 (平均, 標準偏差, ヒストグラム)

第2回 表計算ソフトを用いたデータ分析-2 (散布図, 相関係数, 回帰直線)

### ●第2日目 (9/5)

第3回 データ操作のための技術とプログラミングの基礎

第4回 Rによるデータ分析-1 (平均, 標準偏差, ヒストグラム)

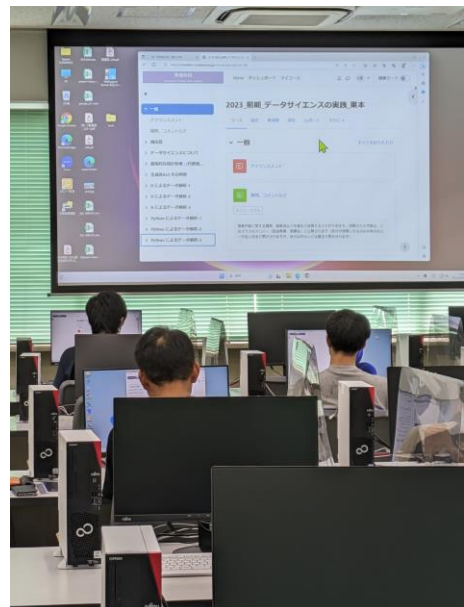
第5回 Rによるデータ分析-2 (散布図, 相関係数, 回帰直線)

### ●第3日目 (9/6)

第6回 Rによるデータ分析-3 (主成分分析, クラスタ分析)

第7回 Pythonによるデータ分析-1 (散布図, 相関係数, ヒートマップ)

第8回 Pythonによるデータ分析-2 (主成分分析, クラスタ分析)



講義の様子



大学コンソーシアム富山 令和5年度「時事的問題」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和5年度単位互換開講科目 「時事的問題」
実施機関名	富山大学 高山 龍太郎（富山大学経済学部教授）
趣旨・目的	（1）日本社会が抱える各分野の課題について理解すること （2）それらを踏まえて、将来自分が何をなすべきか、社会の課題と関連させて自分を位置づけること （3）そのための第一歩として、大学在学中に何をしたら良いか、具体的に目標を定めること
開催日時	令和5年9月8日（金）、9月21日（木）、9月22日（金）、 23日（土）
開催場所	富山大学五福キャンパス（9月8日は遠隔授業）
参加人数	学生 81名 【内訳】・富山大学（79名） ・富山県立大学（1名） ・高岡法科大学（1名）
事業内容	<p>&lt; 1日目 9月8日（金） &gt; （講師：株式会社 HI イニシアティブ代表取締役、NPO 法人 CeFIL デジタルビジネスイノベーションセンター共同設立者・西野弘，株式会社 トリエス エグゼクティブディレクター・佐藤真悟） 第1回（3限）今こそ自己イノベーションを起こすとき！！ 第2回（4限）自らが考える価値基準を持つ意味・ワークショップ</p> <p>&lt; 2日目 9月21日（木） &gt; （講師：子羊会グループ・朝日ケアコンサルタント（株）取締役・グスタフ・ストランデル，西野弘，佐藤慎吾） 第3回（2限）日本の少子高齢社会における家族と社会の役割 第4回（3限）スウェーデンの有名な福祉国家の表と裏 第5回（4限）我々の考えをグレートリセットすべき！！ 第6回（5限）パネルディスカッション</p> <p>&lt; 3日目 9月22日（金） &gt; （講師：CLO ラボ代表取締役社長・三井幹陽，西野弘，佐藤慎吾） 第7回（1限）大学生活と将来の社会生活はどのようにつながっているか1</p>

第8回（2限）大学生活と将来の社会生活はどのようにつながっているか2

第9回（3限）「外の景色」はどんな景色？1

第10回（4限）「外の景色」はどんな景色？2

第11回（5限）映画「未来の学校」

< 4日目 9月23日（土） >

（講師：株式会社ビジネスリファイン代表取締役・大野祐子，富山大学経済学部教授・高山龍太郎，西野弘）

第12回（2限）これからの時代のキャリア形成

第13回（3限）SDGs（持続可能な開発目標）を通じて、社会変革への参加意義を学ぶ

第14回（4限）パネルディスカッション

第15回（5限）まとめ



ゲストスピーカーによるワークショップの様子

大学コンソーシアム富山 令和5年度「SDGs 入門」実施報告

<p>事業名</p>	<p>大学コンソーシアム富山 令和5年度単位互換開講科目 「SDGs 入門」</p>
<p>実施機関名</p>	<p>富山大学 木村 元（富山大学教養教育院 講師）</p>
<p>趣旨・目的</p>	<p>この科目では、SDGs（sustainable development goals）という、2015年9月25日、第70回国連総会において採択された「持続可能な開発のためのアジェンダ2030」の内容を学びます。「持続可能な開発目標」（SDGs）とされているのは、17の目標に当たります。この全体像を把握し、これからの日本や世界を生きて行くみなさんにSDGsを意識した「ものの見方」を身につけてもらいたいと意図しています。</p> <p>とくに、“共通言語”としてのSDGsの性質に注目して、将来、文系／理系を問わず異分野の仲間達と、社会問題解決に向けた対話をするための基礎を身につけて頂くことを目指します。また、SDGsに向けて挑戦をつづける実務者2名（※）によるゲスト講義2回をとおして、現場の最新動向をお伝えするとともに、将来の職業選択（大学で何を学べば良いのか等）の参考として頂くことも念頭においております。</p>
<p>開催日時</p>	<p>令和5年8月29日（火）、8月30日（水）、 9月14日（木）、9月15日（金）</p>
<p>開催場所</p>	<p>富山大学五福キャンパス</p>
<p>参加人数</p>	<p>学生91名 【内訳】・富山大学（76名） ・富山高等専門学校（12名） ・富山国際大学（2名） ・富山短期大学（1名）</p>

## 事業内容

### 【1日目：8/29（火）1限～5限】

1. イントロダクション／SDGsの概要（1）『開発途上国』とSDGs
2. SDGsの概要（2）『共通言語』としてのSDGs
3. SDGsの概要（3）技術・社会の『イノベーション』とSDGs
4. グループ・ワーク（1）SDGsとは何か？
5. 課題とアプローチ（1）SDGsの課題（資金不足、トレードオフ）

### 【2日目：8/30（水）1限～3限】

6. 課題とアプローチ（2）ESG投資，SDGs事業（社会事業、社会起業）
7. グループ・ワーク（2）どのようにすればSDGsに貢献できるか？
8. 実務者ゲスト講義（1）「企業のサステナビリティ実現に向けた取り組みの変遷（仮）」

### 【3日目：9/14（木）1限～3限】

9. SDGsへの取り組み（1）民間企業（大企業，中小企業，スタートアップ）
10. SDGsへの取り組み（2）行政機関（政府、地方自治体）
11. 実務者ゲスト講義（2）「数理モデル&シミュレーションと社会課題解決（仮）」

### 【4日目：9/15（金）1限～4限】

12. SDGsへの取り組み（3）市民（消費者・労働者、NPO・NGO）
13. 社会システムとして捉える（エコロジカル近代化論，脱成長論）
14. グループ・ワーク（3）SDGsの達成に向けて何ができるか？
15. まとめ（この授業で学んだことの整理）



8/30 ゲストスピーカー講義

大学コンソーシアム富山 令和5年度単位互換開講科目  
「災害救援ボランティア論」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和5年度単位互換開講科目 「災害救援ボランティア論」
実施機関名	富山大学 奥寺 敬（富山大学非常勤講師）
趣旨・目的	災害救援ボランティア育成のカリキュラムをコアに，富山県の災害と防災対策，富山大学の研究者による独自の研究内容などを加えて，地域防災においてリーダーシップを発揮できる人材となるための学修を提供する。
開催日時	令和6年2月13日（火），14日（水），15日（木），16日（金）
開催場所	富山大学五福キャンパス及び四季防災館
参加人数	学生 60名 【内訳】・富山大学（53名） ・富山県立大学（6名） ・富山短期大学（1名）

事業内容

2月13日（火）

- 第1回 災害救援ボランティアと危機管理医学  
（富山大学客員教授 附属病院先端危機管理医学 奥寺 敬 氏）
- 第2回 災害ボランティア活動の基本  
（災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野 次郎 氏）
- 第3回 被災地での安全衛生とコミュニケーション  
（災害救援ボランティア推進委員会防災教育部長・社会福祉士  
宮崎 賢哉 氏）
- 第4回 災害時のリーダーシップとチームビルディング  
（災害救援ボランティア推進委員会防災教育部長・社会福祉士  
宮崎 賢哉 氏）

2月14日（水）

- 第5回 災害時の医療救援活動  
（富山県立中央病院救命救急センター医師 若杉 雅浩 氏）
- 第6回 災害時に求められるケア  
（富山大学大学院医学薬学研究部（看護学） 伊井 みず穂 氏）
- 第7回 富山県の防災対策  
（富山県防災・危機管理課 課長 熊本 誠 氏）

2月15日（木）

- 第8回 地形図から災害を予測する  
（富山大学人文学部教授 大西 宏治 氏）
- 第9回 防災机上訓練 DIG 洪水ハザードマップの活用  
（富山大学人文学部教授 大西 宏治 氏）
- 第10回 自然について学び・深めて災害対策  
（富山大学都市デザイン学部准教授 安江 健一 氏）
- 第11回 大規模風水害の疑似体験  
（富山大学都市デザイン学部准教授 安江 健一 氏）

2月16日（金）

- 第12・13回 普通救命講習（AED含む）（富山市消防局）
- 第14・15回 四季防災館にて講義・体験学習（四季防災館職員）



大学コンソーシアム富山 令和5年度「教養特別講座」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和5年度共同授業科目「教養特別講座」
実施機関	富山国際大学（担当教員：大谷孝行 富山国際大学 現代社会学部教授）
趣旨・目的	本講座では人間の笑いを様々な側面から考察し、笑いの特徴や奥深さについて理解するとともに、ままならぬ人生を前向きに前進する力を身につける。
開催日時	令和6年2月19日(月)・20日(火)・21日(水)・22日(木)の4日間
開催場所	大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室1
参加人数	学生30名 【内訳】・富山大学19名・富山県立大学5名・富山国際大学6名
事業内容	<p><b>【令和5年度概要】</b>            今年度の教養特別講座は、計15回の講義を通して笑いの理論・漫才・落語などを楽しみながら学ぶことを目的に実施いたしました。講義はコーディネータをはじめ、情報・国際・福祉関係の教員が担当し、笑いを様々な分野から見ることで幅広い知識を身につけることができました。            講義終了後のアンケートでは、総合評価4.4（5点満点）と高い評価になりました。次回以降の講義も多く多くの学生に満足してもらえるような講義をしていけるよう教職員一丸となり力を込めていきたいと思っております。</p> <p><b>【第1日目：2月19日(月)】</b>            （講師：富山国際大学現代社会学部教授 大谷孝行）            ① オリエンテーション、笑いを「笑いの理論」から理解する（9:00～10:30）            ② 日本の芸能の理解を深める(1)（10:40～12:10）            ③ 日本の芸能の理解を深める(2)（13:00～14:30）            ④ 1日目の総復習（14:40～16:10）</p> <p><b>【第2日目：2月20日(火)】</b>            （講師：富山国際大学現代社会学部教授 大谷孝行）            ⑤ 日本の芸能の理解を深める(3)（9:00～10:30）            ⑥ 大阪の笑いについて学ぶ（10:40～12:10）            ⑦ 人生におけるピンチと笑いについて考える（13:00～14:30）            ⑧ 2日目の総復習（14:40～16:10）</p> <p><b>【第3日目：2月21日(水)】</b>            （講師：富山国際大学現代社会学部教授 大谷孝行）            ⑨ 映画『男はつらいよ』に学ぶ人生観(1)（9:00～10:30）            ⑩ 映画『男はつらいよ』に学ぶ人生観(2)（10:40～12:10）            ⑪ 「老いと笑い」について考える（13:00～14:30）            ⑫ 「幸福と笑い」について考える（14:40～16:10）</p>

**【第4日目：2月22日(木)】**

- ⑬様々な学問分野から笑いを考える (1)  
(講師：富山国際大学現代社会学部准教授 Bogdan PAVLIY) (9:00～10:30)
- ⑭様々な学問分野から笑いを考える (2)  
(講師：富山国際大学現代社会学部准教授 豊岡理人) (10:40～12:10)
- ⑮様々な学問分野から笑いを考える (3) (13:00～14:30)  
(講師：富山国際大学子ども育成学部教授 村上満)



(富山国際大学現代社会学部教授 大谷孝行)



(富山国際大学現代社会学部准教授  
Bogdan PAVLIY)



(富山国際大学現代社会学部准教授 豊岡理人)



(富山国際大学子ども育成学部教授 村上満)